



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 タキロン株式会社

コード番号 4215 URL <http://www.takiron.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 兵頭 克盛

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務部長

(氏名) 武田 豊

TEL 06-6453-3909

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日

平成25年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	34,384	1.4	2,550	6.0	2,606	4.0	1,559	△22.1
25年3月期第2四半期	33,907	0.9	2,405	19.0	2,505	21.6	2,001	103.5

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 1,770百万円 (△0.6%) 25年3月期第2四半期 1,781百万円 (99.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	21.75	—
25年3月期第2四半期	27.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
26年3月期第2四半期	81,291	46,156	55.9	634.08
25年3月期	77,977	44,889	56.7	616.38

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 45,443百万円 25年3月期 44,177百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	4.00	—	7.00	11.00
26年3月期	—	5.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.50	11.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	73,000	7.7	5,700	20.9	5,500	13.9	3,000	△11.7	41.86

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	78,698,816 株	25年3月期	78,698,816 株
26年3月期2Q	7,030,192 株	25年3月期	7,025,045 株
26年3月期2Q	71,671,224 株	25年3月期2Q	71,677,243 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

[目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報（その他）に関する情報	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 9
(5) セグメント情報等	P. 9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融政策などを背景に、円安の進行に伴う輸出環境の改善や株価の上昇、企業の生産活動も緩やかに増加し、個人消費も持ち直しの動きが見られるなど、景気は回復基調で推移しました。

一方で、原材料価格が上昇傾向にあることや欧州の財政問題・新興国の経済成長鈍化などの海外景気の下振れが懸念材料となっており、不透明な経営環境が続いております。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は343億8千4百万円（前年同四半期比1.4%増）、営業利益は25億5千万円（前年同四半期比6.0%増）、経常利益は26億6百万円（前年同四半期比4.0%増）となりました。なお四半期純利益は15億5千9百万円、前期は退職給付制度改定益（特別利益）9億2千7百万円を計上していたため、前年同四半期比22.1%減となりました。

セグメント別の事業の状況は、次のとおりであります。

住環境事業

住設資材部門は、戸建住宅の新設住宅着工戸数が前年同期比増加傾向にあったことから、雨どいシステムのジェットライン、排水ますや小口径マス等の管工機材や内装材等の住宅資材が堅調に推移し、売上は前年同四半期を上回りました。

採光建材部門は、ポリカーボネート製平板および加工品が住宅関連、工場・倉庫の省エネ、防災施設向けに順調に売上を伸ばしましたが、波板関連は突風被害による特需のあった前年に比べ売上が減少したため、全体の売上は前年同四半期を下回りました。

環境・土木部門は、公共投資が動き出し、物件への納入が進んだことにより、売上は前年同四半期を上回りました。

エンジニアリング部門は、管更生分野（下水管渠のリニューアル資材）において7月以降受注済物件の材料納入が順調に進んだことと、上下水道分野での物件の受注が好調に推移したことから、売上は前年同四半期を上回りました。

その結果、住環境事業の売上高は184億6千5百万円（前年同四半期比1.1%減）となりました。なお営業利益は11億8千6百万円、前期は波板関連の特需による設備稼働率の大幅な上昇という特殊要因があったため、前年同四半期比31.2%減となりました。

床事業

床事業は、主力のマンション改修向け製品が好調に推移したほか、高付加価値製品の売り上げが伸びました。その結果、床事業の売上高は48億6千万円（前年同四半期比4.4%増）、営業利益は12億円（前年同四半期比15.9%増）となりました。

高機能材事業

プレート部門は、世界的な半導体・液晶関連における設備投資が回復基調に推移したことや円安の進行の影響により、FMプレート（難燃材料）や制電プレートなどの工業用プレートと切削材料の需要が増加しました。特に海外の大型案件を獲得したことにより、売上は前年同四半期を上回りました。

ポリカプレート部門は、一般産業機械カバー用途を中心とした汎用品が伸び悩みましたが、半導体関連用途の高機能品や光学品が順調に推移したことにより、売上は前年同四半期を上回りました。

その他に、サイン分野は大型物件の減少、タンク分野は国内半導体・電子部品業界の設備投資需要の減少と各分野で前年同四半期を下回りました。

その結果、高機能材事業の売上高は99億6千9百万円（前年同四半期比3.6%増）、営業利益は1億4千7百万円（前年同四半期は1億9千9百万円の営業損失）となりました。

メディカル事業

骨接合材料部門は、整形外科分野を中心とするスーパーフィクソープの販売が順調に推移し、また頭蓋顎顔面外科分野のスーパーフィクソープMXは国内向けは前年を下回りましたが海外向けが好調に推移したことにより、売上は前年同四半期を上回りました。その結果、メディカル事業の売上高は10億8千9百万円（前年同四半期比14.6%増）、営業利益は1千5百万円（前年同四半期は1億5千6百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より33億1千4百万円増加し、812億9千1百万円となりました。これは主に現金及び預金が増加したことにより、流動資産が32億3千1百万円増加したことによる

ものです。一方、負債は、前連結会計年度末より20億4千7百万円増加し、351億3千5百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金、短期借入金が増加したことにより、流動負債が21億4千6百万円増加したことによるものです。また、純資産は、前連結会計年度末より12億6千7百万円増加し、461億5千6百万円となりました。自己資本比率は、55.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物残高は、151億4千1百万円（前連結会計年度末は100億9千5百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、50億8千3百万円の収入となりました（前年同四半期は25億6千8百万円の収入）。これは、主に法人税等の支払額11億2千9百万円の支出要因がありましたが、税金等調整前四半期純利益26億9千6百万円、売上債権の減少額19億円、減価償却費13億4百万円の収入要因によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、6億7千8百万円の支出となりました（前年同四半期は8億4千8百万円の支出）。これは、主に有形固定資産の取得9億1千1百万円の支出要因によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、6億2千8百万円の収入となりました（前年同四半期は11億7千5百万円の支出）。これは、主に短期借入金の増加額12億円の収入要因によるものです。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月9日に公表いたしました連結業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報（その他）に関する情報

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,111	15,168
受取手形及び売掛金	24,958	23,010
有価証券	9	—
商品及び製品	6,349	6,530
仕掛品	2,272	2,316
原材料及び貯蔵品	1,594	1,553
繰延税金資産	800	815
その他	1,005	815
貸倒引当金	△168	△42
流動資産合計	46,935	50,167
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,854	7,712
機械装置及び運搬具(純額)	4,215	4,065
土地	10,065	10,065
建設仮勘定	176	550
その他(純額)	922	937
有形固定資産合計	23,233	23,330
無形固定資産		
のれん	170	132
その他	398	467
無形固定資産合計	568	599
投資その他の資産		
投資有価証券	3,426	3,575
繰延税金資産	2,805	2,702
その他	1,156	1,051
貸倒引当金	△149	△135
投資その他の資産合計	7,239	7,194
固定資産合計	31,041	31,124
資産合計	77,977	81,291

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,717	13,586
短期借入金	2,500	3,701
1年内返済予定の長期借入金	1,000	1,000
未払法人税等	1,224	1,250
賞与引当金	938	980
その他	2,970	2,980
流動負債合計	21,351	23,498
固定負債		
長期借入金	500	500
繰延税金負債	862	853
退職給付引当金	8,969	8,923
役員退職慰労引当金	189	6
資産除去債務	203	203
その他	1,012	1,149
固定負債合計	11,735	11,636
負債合計	33,087	35,135
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,189	15,189
資本剰余金	14,667	14,667
利益剰余金	15,767	16,824
自己株式	△2,013	△2,015
株主資本合計	43,610	44,666
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	629	818
為替換算調整勘定	△62	△40
その他の包括利益累計額合計	567	777
少数株主持分	711	713
純資産合計	44,889	46,156
負債純資産合計	77,977	81,291

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	33,907	34,384
売上原価	22,468	22,736
売上総利益	11,439	11,647
販売費及び一般管理費	9,034	9,097
営業利益	2,405	2,550
営業外収益		
受取配当金	49	48
その他	123	96
営業外収益合計	173	145
営業外費用		
支払利息	27	25
売上割引	26	26
支払補償費	—	30
その他	18	6
営業外費用合計	73	89
経常利益	2,505	2,606
特別利益		
固定資産売却益	—	1
投資有価証券売却益	8	105
退職給付制度改定益	927	—
特別利益合計	936	107
特別損失		
固定資産処分損	25	10
投資有価証券売却損	33	6
特別損失合計	59	16
税金等調整前四半期純利益	3,382	2,696
法人税等	1,382	1,144
少数株主損益調整前四半期純利益	1,999	1,551
少数株主損失(△)	△2	△7
四半期純利益	2,001	1,559

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,999	1,551
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△223	191
為替換算調整勘定	2	23
持分法適用会社に対する持分相当額	1	4
その他の包括利益合計	△218	218
四半期包括利益	1,781	1,770
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,784	1,769
少数株主に係る四半期包括利益	△3	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,382	2,696
減価償却費	1,443	1,304
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△948	△47
賞与引当金の増減額(△は減少)	33	41
のれん償却額	52	37
受取利息及び受取配当金	△52	△50
支払利息	27	25
売上債権の増減額(△は増加)	810	1,900
たな卸資産の増減額(△は増加)	△34	△152
仕入債務の増減額(△は減少)	△444	875
その他	△571	△446
小計	3,698	6,185
利息及び配当金の受取額	63	56
利息の支払額	△33	△29
補助金の受取額	21	—
法人税等の支払額	△1,181	△1,129
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,568	5,083
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,037	△911
無形固定資産の取得による支出	△32	△141
投資有価証券の取得による支出	△10	△11
投資有価証券の売却による収入	243	267
貸付金の回収による収入	—	110
その他	△11	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△848	△678
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△800	1,200
リース債務の返済による支出	△83	△68
自己株式の取得による支出	△0	△2
配当金の支払額	△286	△501
少数株主への配当金の支払額	△4	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,175	628
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	13
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	546	5,046
現金及び現金同等物の期首残高	7,201	10,095
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,748	15,141

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	計
	住環境	床	高機能材	メディカル	計		
売上高							
外部顧客への売上高	18,675	4,655	9,626	950	33,907	—	33,907
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17	5	32	—	56	(56)	—
計	18,693	4,661	9,656	950	33,963	(56)	33,907
セグメント利益 又は損失(△)	1,724	1,036	△199	△156	2,405	—	2,405

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は損失と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	計
	住環境	床	高機能材	メディカル	計		
売上高							
外部顧客への売上高	18,465	4,860	9,969	1,089	34,384	—	34,384
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18	7	16	—	41	(41)	—
計	18,483	4,867	9,986	1,089	34,425	(41)	34,384
セグメント利益 又は損失(△)	1,186	1,200	147	15	2,550	—	2,550

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。